

社長の横顔



全農サイロ株式会社
近藤 徹也 社長

1. 休日はどのように過ごしていますか。

大学時代から山に登っていて、子供が小さい時期や仕事のことなどで遠ざかっていたのですが、10年程前から大学時代の仲間と少しずつ再開し、2024年2月に大学の卒業旅行以来39年ぶりにネパールのヒマラヤ山脈を再訪しました。

ヒマラヤはエベレストをはじめ8,000メートル級の山々が連なっていますが、私の場合は頂上には行かず、ヒマラヤを眺めながら大体4,000メートル辺りのトレッキングコースを歩いています。

39年ぶりに行ってみて、変わっていたこと、変わっていなかったことがありました。

まず、以前はなかった日本からネパールへの直行便(週3便)が出来ており、成田から7～8時間で行くことができます。ただこのネパール航空は数少ない機体をやり繰りしていることに加え、山岳地帯特有の気象の影響もあり、決して定刻通りは運航しません。

また、日本の援助などもたくさん入っていることなどもあり、昔と比べて道路などのインフラが少し良くなりました。昔は、一日歩いて行かなければならなかった場所に道路が開通していて、車で1～2時間で行けるようになっていました。

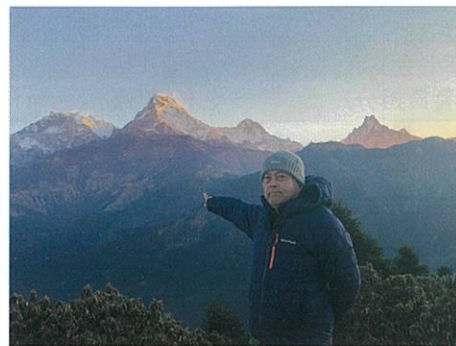
登山スタイルも以前は全て自分で荷物を背負って地図を見ながら歩きましたが、現在外国人登山者は原則ガイド・ポーターを雇わないと入山許可が出ない仕組みになっており、結果的にとても楽で、日本語ガイドさんから現地ならではの話を聞いたのは幸いでした。

一方でネパールは貧困国のままであり、過去から現在まで海外からの援助・海外への出稼ぎに頼っているという感じです。今回付いてくれたガイドさんも、長野県のホテルで仕事をした後、ネパールでガイド資格を取り、現在は子供たちもみな海外で仕事・留学しているとのことでした。最近では出稼ぎでロシアに行き、ロシア軍の傭兵部隊としてウクライナと戦うネパール人が最大で15,000人に達したという報道もありました。

ちなみに現在日本の街中にあるインド料理店の大半は、インド人ではなくネパールのある一族の方が経営されていると聞きました。従って各店のメニューも驚くほど同じ内容になっていますが、これらは日本向けに開発されたそうです。

道路などのインフラ整備が今後も続き、四駆の車でト

レッキングができるような時代もいつか来るでしょう。変わらないヒマラヤの山々への思いを温めながら再々訪の機会を狙いたいと考えています。



ヒマラヤの山々を望む近藤社長。

2. 最近見たテレビ、映画があれば教えてください。

昨年末韓国ソウルを家族旅行で訪ねた折に、日本語ツアーのガイドさんに韓国のテレビドラマをいくつか紹介してもらい、一番気に入ったのが「梨泰院(イテウォン)クラス」というドラマです。イテウォンというのはソウルの大繁華街で、日本の六本木のような場所です。

韓国最大の外食財閥の御曹司と主人公は同じ高校の同級生で、御曹司の交通事故で父を亡くするなど数々の葛藤がある中、主人公はイテウォンの小さな居酒屋経営からの上がり、この御曹司と財閥をたたき潰していくというストーリーです。

表面的にはラブストーリーなのですが、骨太な脚本が良くできていて、70分×16話の長いストーリーでも本当に飽きません。サムスン、ロッテ、LGなどに代表される韓国の財閥グループはオーナー企業が多く、またほとんど世襲なのですが、その矛盾もテーマにして主人公が何十年も戦う物語で、ビジネス的にも非常に面白いです。

飼料原料輸送で韓国の海運会社と全農はお付き合いがあり、何度かソウルを訪ねたのですが、北朝鮮との分断国家、戦後の軍事政権独裁とその後の民主化、儒教を背景とした男性・年長優先社会、ソウル集中の超学歴社会、今なお続く徴兵制など、隣国ではありながら日本より遥かに激動の歴史・社会であることを感じていましたが、このドラマを見るに、そのような社会であるからこそ、骨太なドラマ素材がたくさんあるとも感じました。

基金事務局・お問い合わせ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目11番4号 TEL.03(3251)5781 FAX.03(3251)5784

受付時間：月～金曜日(祝祭日を除く) 9:00～17:30

URL:<https://www.nenkin-kikin.jp/znkonen/> ユーザID: zenkonenm パスワード: zk32515781



ホームページ
QRコード